

個人投資家向け会社説明会

2025年8月9日（土）



証券コード：4886

あすか製薬ホールディングス株式会社

本日の内容

1. あすか製薬ホールディングスとは
2. 事業会社の紹介
3. あすか製薬ホールディングスの成長戦略
4. サステナビリティへの取り組み
5. 経営成績・株主還元方針

あすか製薬ホールディングスとは

コーポレートメッセージ

あすも、みらいも、すこやかに



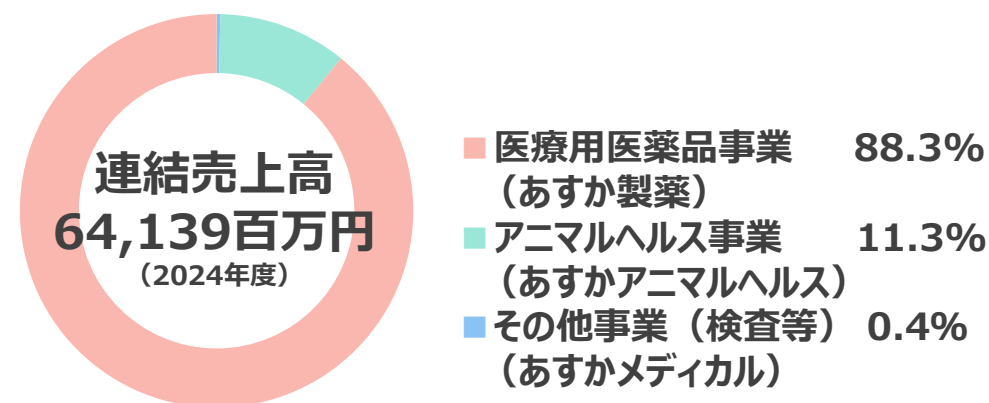
あすか製薬ホールディングス株式会社

あすか製薬ホールディングスの概要

商号	あすか製薬ホールディングス株式会社
設立年月日	2021年4月1日
資本金	11億9,790万円
単元株式数	100株
本社所在地	東京都港区芝浦二丁目5番1号
従業員数（連結）	1,632名※1
グループ会社数	連結子会社：5社 持分法適用関連会社：3社
時価総額	712億7,500万円※2
証券コード	4886（東証プライム）

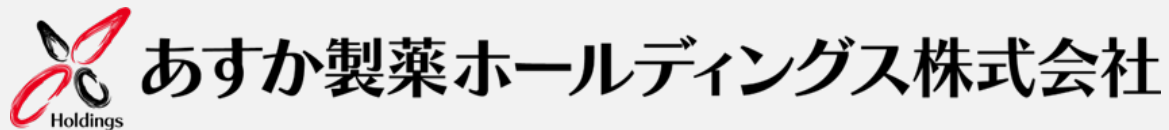


代表取締役社長
山口 忽大



※1 従業員数・グループ会社数は2024年度末現在
※2 時価総額は2025年7月31日付終値（2,478円）より算出

あすか製薬ホールディングスの事業会社



経営理念：先端の創薬を通じて人々の健康と明日の社会に貢献する

医療用医薬品事業

あすか製薬株式会社



アニマルヘルス事業

あすかアニマルヘルス株式会社



検査事業

株式会社あすか製薬メディカル



海外事業

Ha Tay Pharmaceutical



「予防、検査・診断、治療、予後」のトータルヘルスケアカンパニーを目指します

あすか製薬ホールディングスの歩み

世のため人のため、国益を最優先する志が事業の原点

1893年
(明治26年)

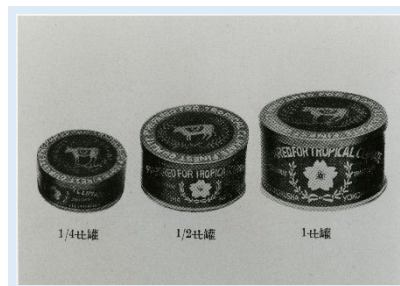
創業者山口八十八が洋酒・食料品輸入商「山口八十八商店」を開業。
輸入一辺倒の状況に疑問を抱き、国益に資するべく食品の国産化を目指し、
食品製造業への進出を図る。

1908年
(明治41年)

「帝国社食品工場」を開設、国内初の人造バター（マーガリン）を製造・販売。
以後、牛脂、豚脂、肉・野菜の缶詰、ハムなど次々と国産化に成功。
製造過程で大量に廃棄されていた動物の臓器に着目、独自のホルモン薬の研究を開始。

1920年
(大正9年)

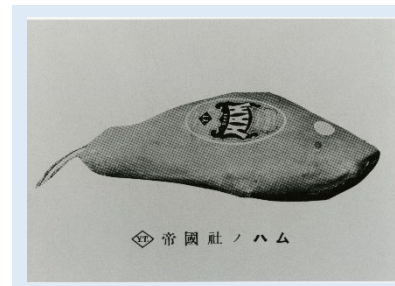
「帝国社臓器薬研究所」を創設、男性ホルモン製剤「スペルマチン」の製造・販売を
開始し、医薬品製造業に進出。（当社の創立）



人造バター（マーガリン）



野菜の缶詰



ハム



創業者 山口八十八



帝国社食品工場



男性ホルモン製剤
「スペルマチン」

ホルモンとは

主に内分泌臓器や組織でつくられ、体のいろいろな機能を調節する働きがあります。
非常に少ない分量で効果があります。

あすか製薬ホールディングスの歩み

■ 創立以来100年にわたって内分泌ホルモンの研究で社会課題解決に取り組む



1920年～
製薬企業としての
第一歩を踏み出す



1955年～
株式上場
成長～発展



2005年～
あすか製薬誕生
さらなる発展へ



2021年～
HD体制化
次の100年へ

独創的な発想で次々と ホルモン製剤を発売

国内初となる様々な
ホルモン製剤を発売



ホルモン研究の技術を 活用して事業を展開

医薬品の製品多角化
を進めるとともに、検査
事業、動物用医薬品
事業への展開を図る



女性の健康課題解決に寄り添い成長を目指す

時代のニーズにあった医薬品の開発・発売

幼少期 思春期 性成熟期 更年期 老年期



社会のニーズに応え多種多様な製品を提供

連結売上高
641億円

1920

1940

1960

1980

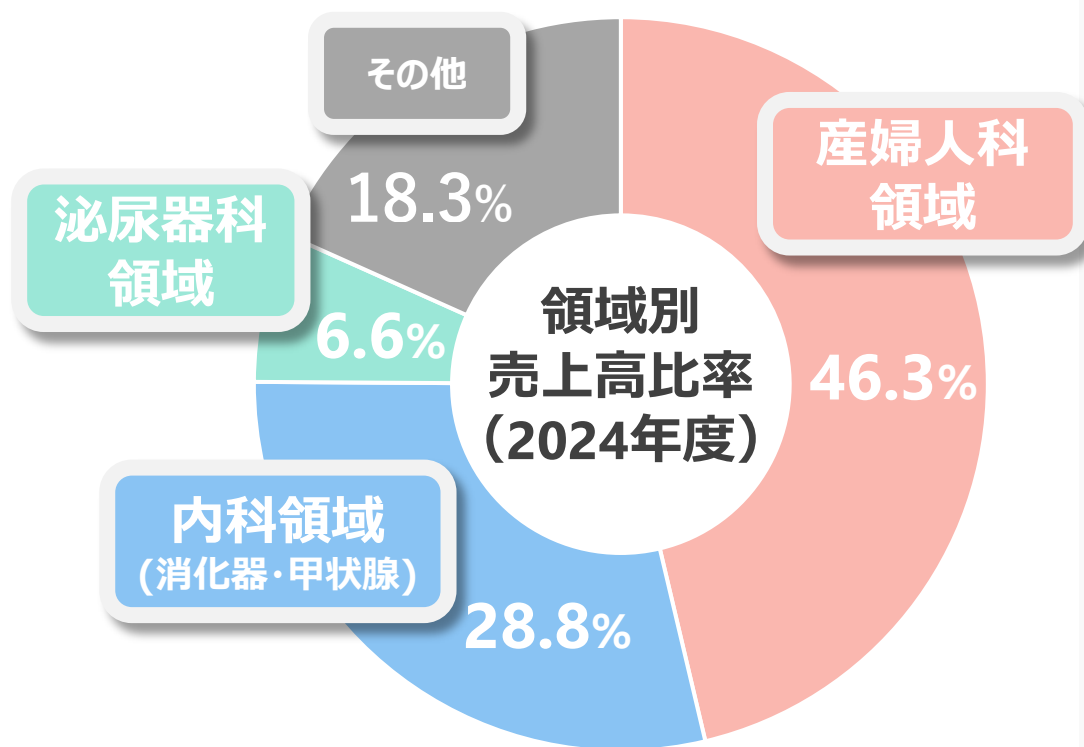
2000

2024

事業会社の紹介

競争力のあるスペシャリティファーマ

3つの重点領域において医療用医薬品事業を展開しています



医療用医薬品とは

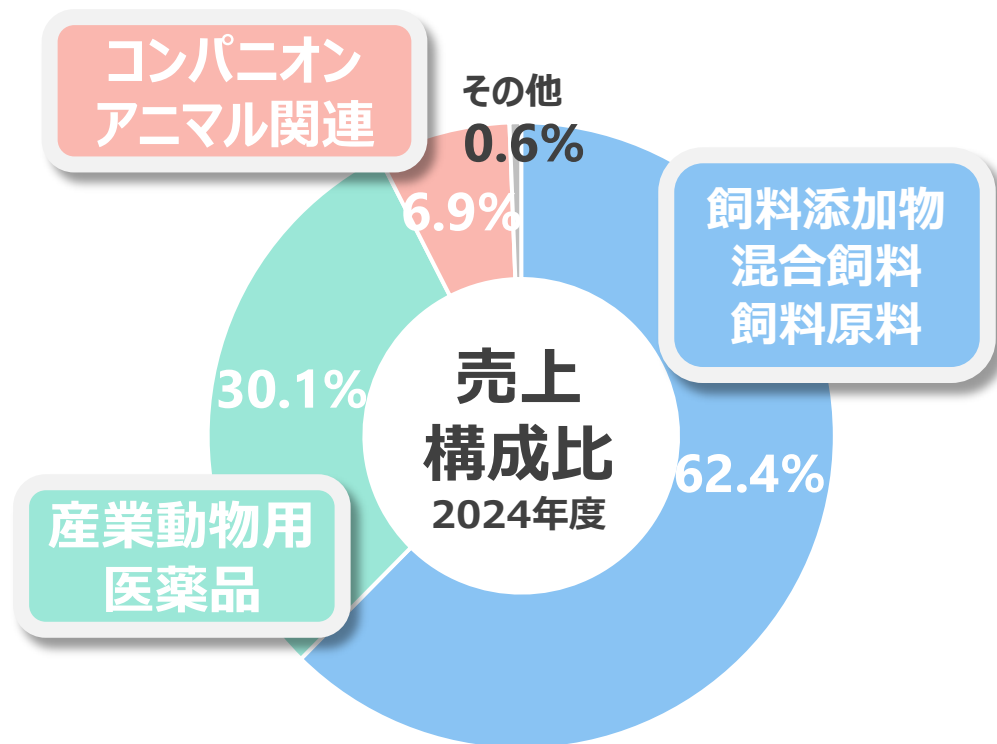
主に医師または歯科医師が診断のうえ、患者さん一人ひとりの病気やけがの程度などを判断して処方し、薬剤師が調剤して使用されるくすりのこと。



コンパニオンアニマル（CA）用医薬品の開発を推進

動物用医薬品などの製品に注力した活動を展開しています

あすかアニマルヘルス 売上構成比



コンパニオンアニマル分野での取り組み

製品名：チロブロック錠（2021年1月発売）
適応症：猫の甲状腺機能亢進症



国内で初めて承認された猫の甲状腺機能亢進症治療剤。
あすか製薬の医療用医薬品から転用して開発。
小型錠で猫に優しい製剤設計。

製品名：トリロスタン錠（2022年11月発売）
適応症：犬:副腎皮質機能亢進症(クッシング症候群)に伴う
諸症状の改善



飲みやすい錠剤で、
小型犬に対応した製剤設計。

強み 内因性ホルモン微量分析技術

独自の検査技術を応用した非侵襲性検査キットの開発を進めています

主な製品

AGAの主な要因となる
ジヒドロテストステロンを測定



毛髪ホルモン量測定キット
ジヒドロテストステロン

男性ホルモンの代表格である
テストステロンを測定



毛髪ホルモン量測定キット
テストステロン



爪・毛髪からコルチゾールを測定し
ストレスレベルを評価

ストレスホルモン量測定キット
コルチゾール

直近の活動

更年期を対象とした
毛髪女性ホルモン量測定キット
「Proges」
2024年4月発売



猫 コンパニオンアニマル用キット

2025年3月発売

ネコ 体毛甲状腺ホルモン量
測定キット

(対象 甲状腺機能亢進症)



ネコ 体毛コルチゾール量
測定キット

(対象 ストレス)



Hataphar（ハタファア）社

商号：Ha Tay Pharmaceutical, J. S. C.

創業：1965年

本社：ベトナム ハノイ市

従業員：857名

上場：ハノイ証券取引所（2008年）

2024年度 売上高：12,879百万円

事業内容：

■ 医薬品製造販売

- ・ 後発医薬品が主流、薬局に強み
- ・ ハノイ La Khe 工場で300品目以上の自社製品を製造販売

■ 輸入販売

- ・ 流通網はベトナム全土をカバー。医薬品・原材料などを取り扱う

2025年2月に連結子会社化



■ その他

- ・ 原材料販売や輸出（カンボジア・ミャンマー等）

あすか製薬ホールディングスグループの強み

成長の源泉

内分泌の研究・開発に長年にわたり特化し

100年超

多種多様な製品を開発・発売

あすか製薬

産婦人科領域

No.1

産婦人科領域売上No. 1※

※自社推計：2024年度

あすか製薬

甲状腺領域

No.1

国内甲状腺製品シェア95%

あすかアニマルヘルス

畜水産分野

繁殖用医薬品ラインナップ

畜産ホルモン剤市場において高いシェアを獲得

あすか製薬メディカル

分析技術

内因性ホルモン微量分析

非侵襲性検査事業の拡大

あすか製薬ホールディングス

シナジーの創出

グループ間連携の深化

各分野での連携・協業

あすか製薬ホールディングスの成長戦略

中期経営計画2025の目指す姿

スペシャリティファーマを基盤とする
トータルヘルスケアカンパニーを目指す

中期経営計画2025 数値目標
売上高700億円 営業利益率8% ROE8%

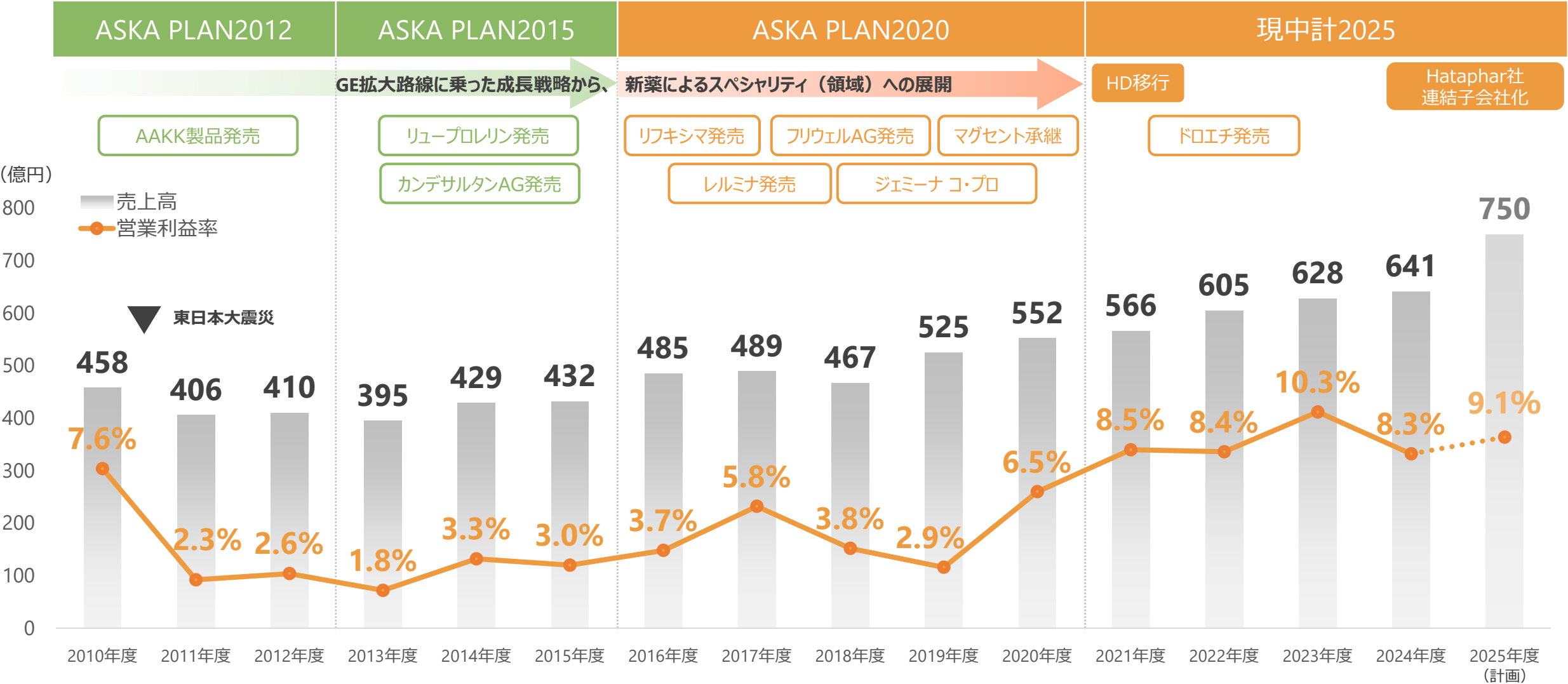
外部環境の変化に対して「専門性」「生み出す力」「社会貢献」
を軸に「4つのビジョン」「7つの戦略」を立案し中期経営計画を策定

専門性

生み出す力

社会貢献

あすか製薬 過去15年の業績振り返り（連結）



中期経営計画2025 4つのビジョンと7つの戦略

4つのビジョン

- ① 医療用医薬品を軸にスコープ（領域、地域）を拡大する
- ② オープンイノベーション推進により業務革新を実現する（研究開発－生産－販売まで）
- ③ 中核となる国内医薬品事業（スペシャリティ領域）で国内トップを確立する
- ④ 社会から信頼され続ける会社であり続ける

7つの戦略

スペシャリティ領域の
取り組み強化による
企業価値向上（①）

先端創薬による
新薬の継続的創出
（②）

海外事業の展開（③）

トータルヘルスケア実現に
向けた新たな価値提供

業務効率化、
コスト削減、
財務基盤の強化

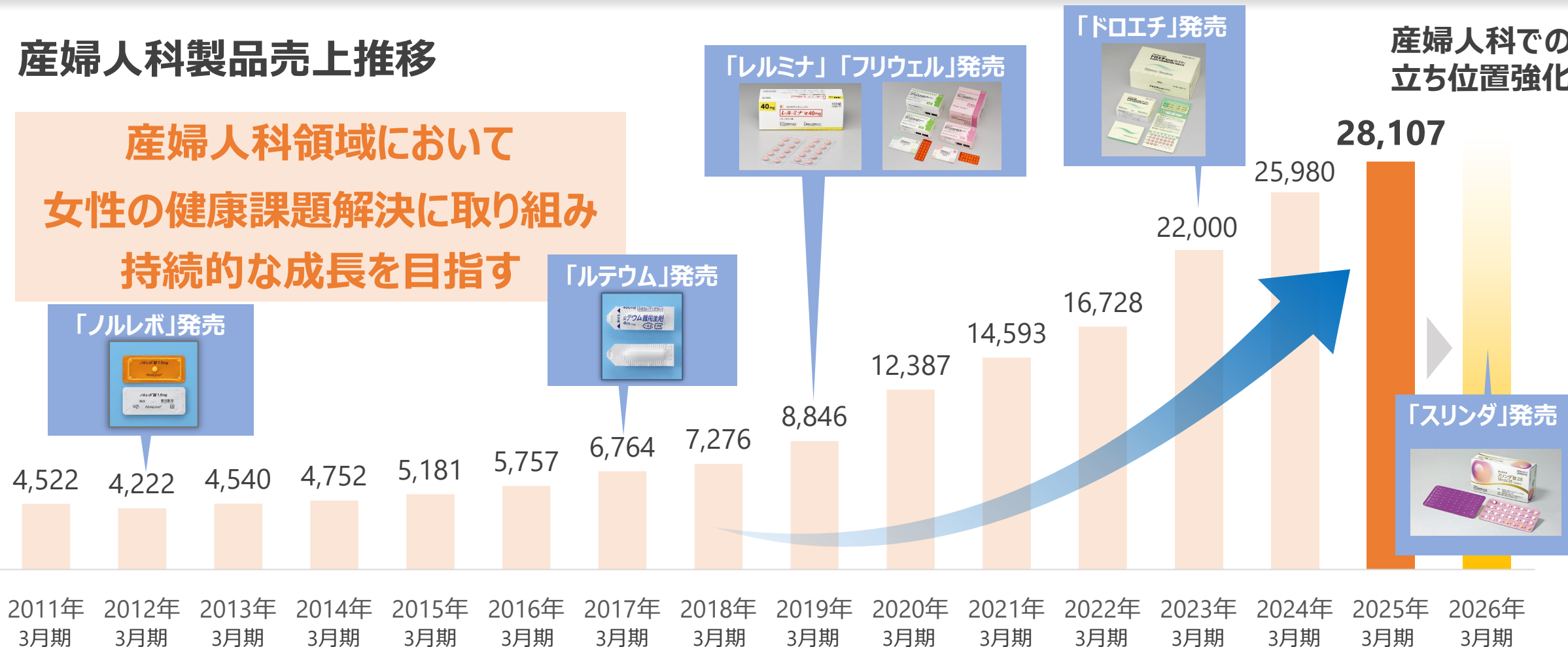
コンプライアンスの徹底と
信頼性を重視する
組織風土の醸成

成長戦略を実現する
ための人材育成

7つの戦略 ①スペシャリティ領域の取り組み強化による企業価値向上

産婦人科製品売上推移

産婦人科領域において
女性の健康課題解決に取り組み
持続的な成長を目指す



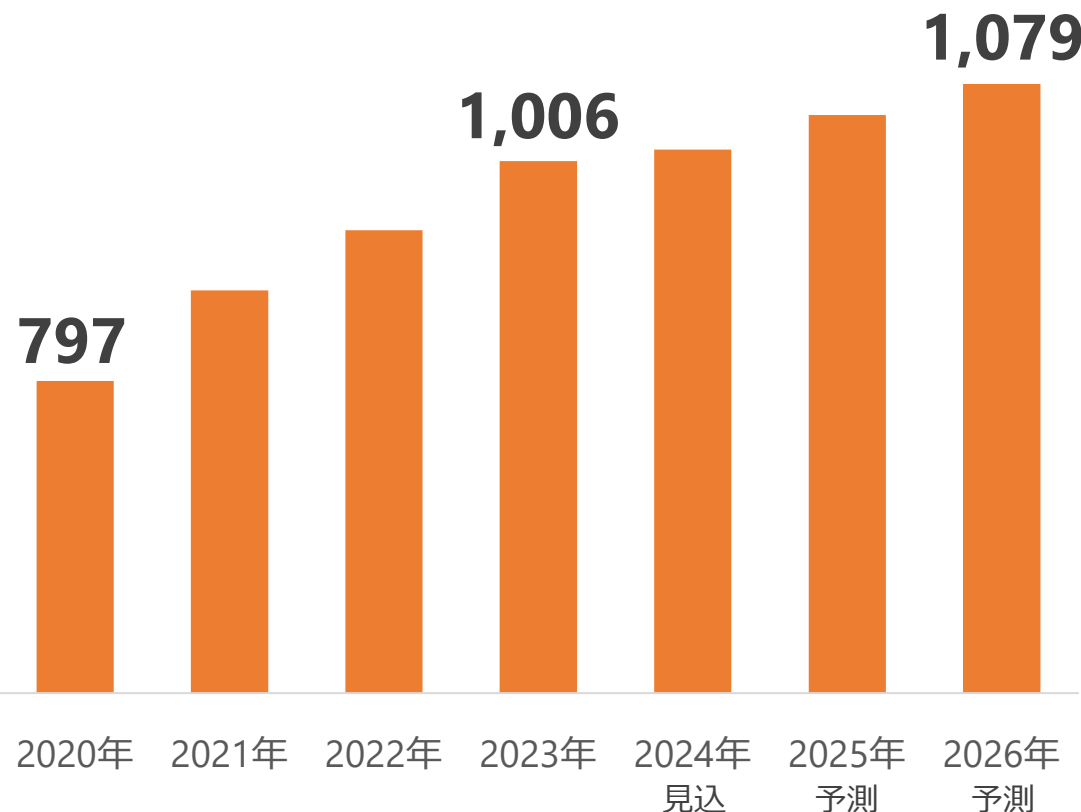
産婦人科領域での年度売上No.1※を達成

※ 自社集計（単位：百万円）

産婦人科市場の推移と女性を取り巻く環境変化

産婦人科市場規模推移

(単位：億円)



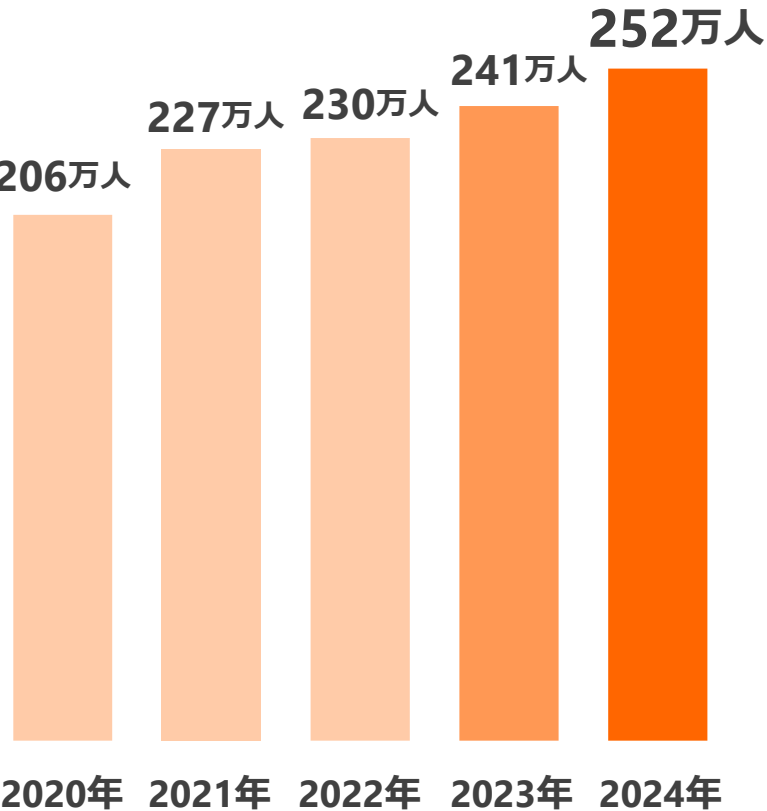
産婦人科市場は持続的な成長を予測

環境の変化

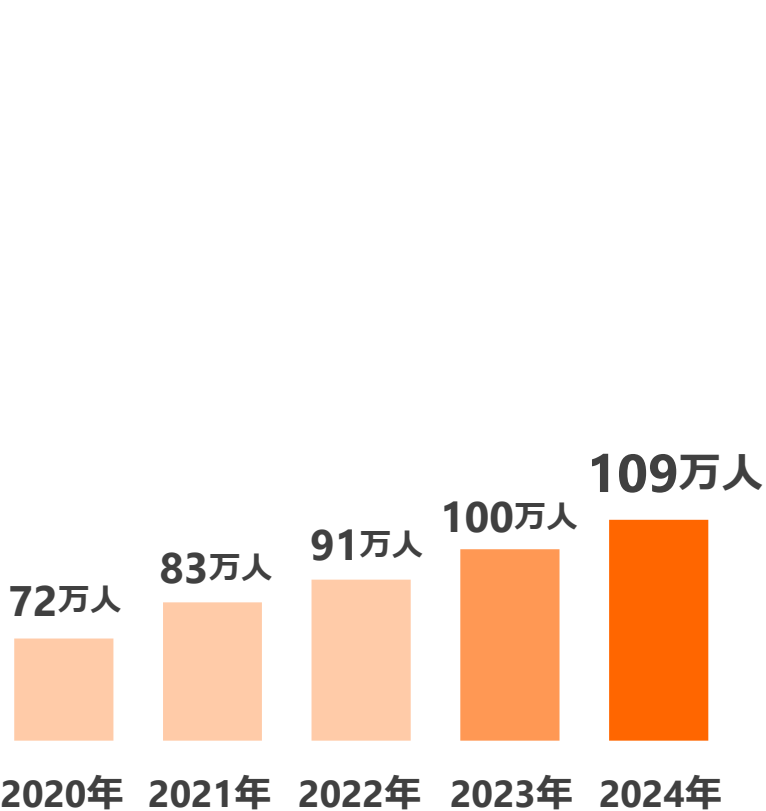
- ✓ 国の女性活躍に関する政策の推進
 - 骨太の方針2024および女性版骨太の方針2024への記載
月経、妊娠・出産、更年期等、女性の健康課題と仕事の両立支援
 - 婦人科特定疾患治療管理料の運用開始（2020年）
 - 不妊治療保険適用化（2022年）
- ✓ 女性の社会進出とライフスタイルの変化
 - 女性就業者数の増加、女性管理職の増加
 - 女性の健康課題に対する理解とヘルスリテラシーの向上
メディア、SNS等の露出回数増加
- ✓ 女性疾患に関する医療技術の進化・医療アクセス向上
 - 月経困難症や不妊に対する治療の多様化
 - インターネットの普及やオンライン診療の拡大

子宮筋腫・子宮内膜症・月経困難症の患者推移

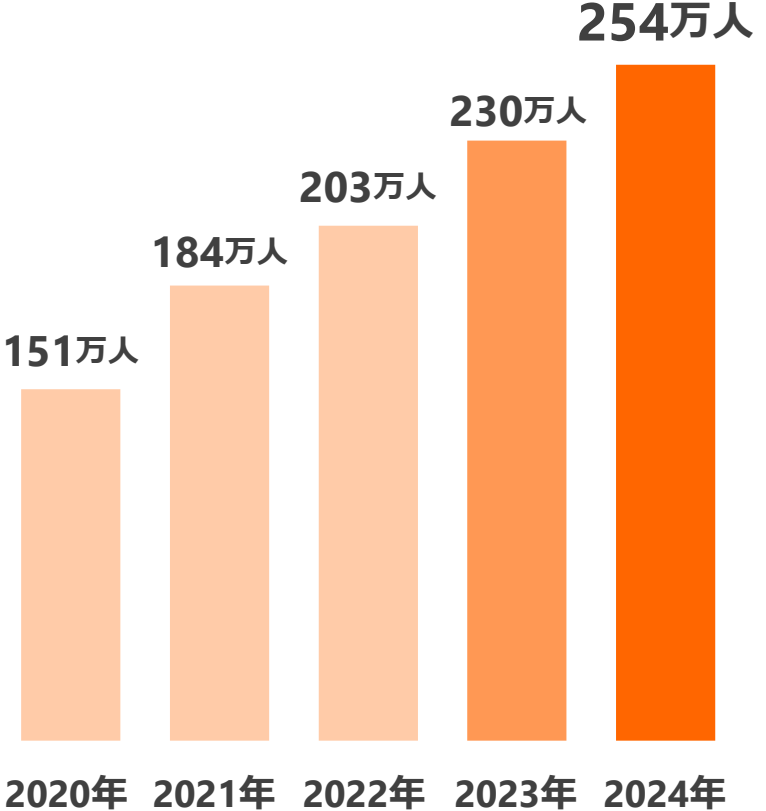
(電子レセプトデータからの拡大推計値、各年1月～12月までの12か月間)



子宮筋腫



子宮内膜症



月経困難症

ライフイベントの変化による月経回数の増加

現代の女性の多くは、昔の女性に比べ初経が早く、晩婚化の傾向にあり出産回数が減少している
生涯に経験する月経回数が増えたことが、月経困難症等の月経トラブルが増えた要因として考えられている

現代女性の月経回数

生涯の月経回数：約**450回**

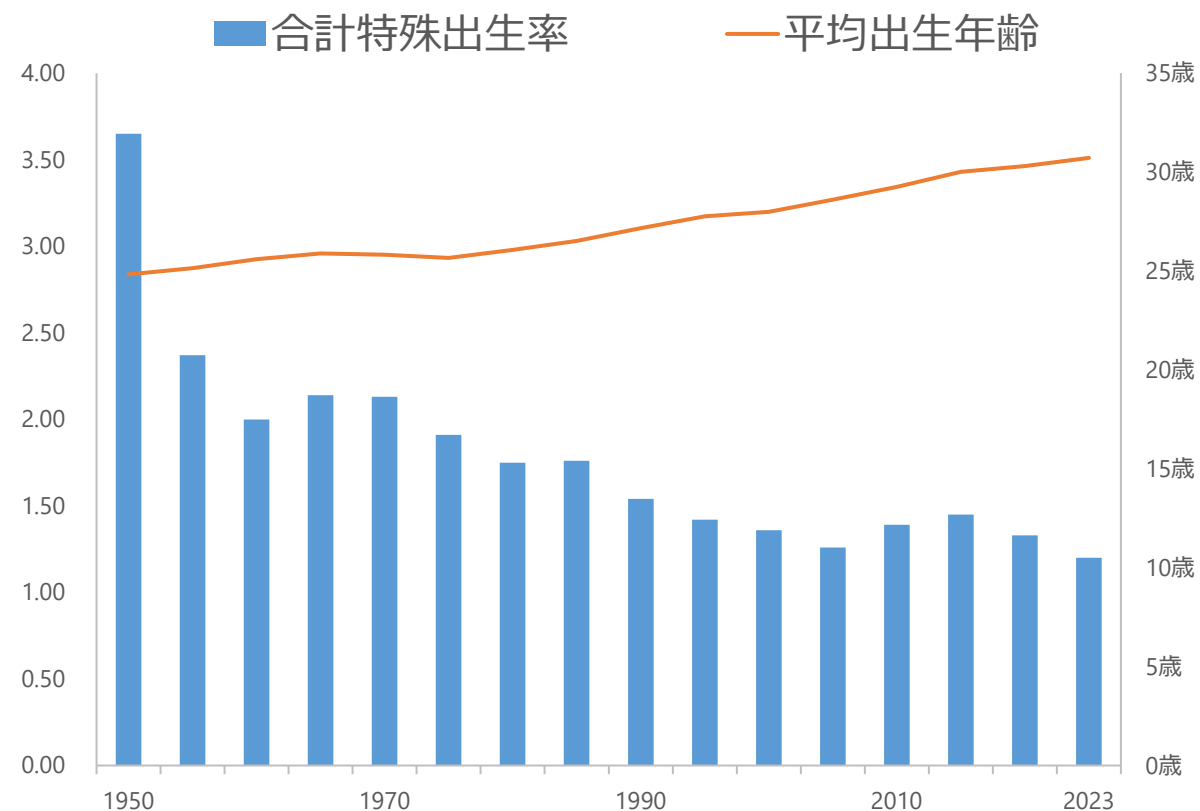
生涯の出産回数：約**2回**

昔の女性の月経回数

生涯の月経回数：約**50回**

生涯の出産回数：約**5回**

出典：Short RV:Proc. R. Soc. Lond B. Biol. Sci. 1976; 195, 3-24.



出典：国立社会保障・人口問題研究所 出生順位別合計特殊出生率および平均出生年齢：1950～2023年

女性のライフステージ別 産婦人科製品一覧

幼少期	思春期	性成熟期			更年期	老年期
	避妊薬	スリンダ	アンジュ	ノルレボ	更年期障害	ホーリン
	鉄欠乏性貧血	リオナ (コ・プロ)				
	性感染症	ラピッドエスピー (コ・プロ)				
	子宮筋腫 子宮内膜症 月経困難症 月経異常	レルミナ	リュープロレリン	AKP-022		
		ジェミーナ (コ・プロ)	フリウエル (AG)	ドロエチ	LPRI-CF113	
		プラノバル	AKP-SMD106	AKP-009		
	切迫流早産 陣痛促進	マグセント	マグネゾール	メチルエルゴ メトリン		
	不妊症	HMG注用	uFSH注用	セキソビット		
		ルテウム	ゴナトロピン			

当社が開発中の産婦人科製品

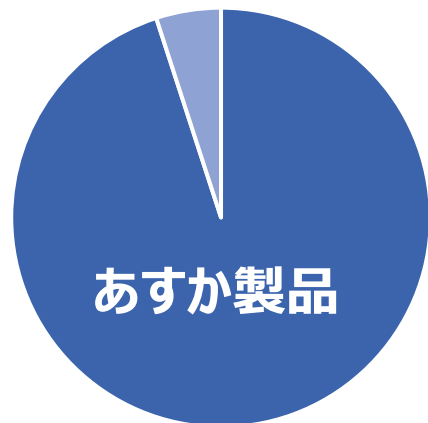
AKP-022
LPRI-CF113
AKP-SMD106
AKP-009

ラインナップを拡充し
女性医療に貢献

販売中

開発中

甲状腺領域のリーディングカンパニー



甲状腺製剤国内シェア 95%以上※

※ 自社推計

甲状腺ホルモン製剤
✓チラーヂンS錠・散・静注液
抗甲状腺剤
✓メルカゾール錠・注
✓プロパジール

代表的な甲状腺の病気

■ 男性 ■ 女性

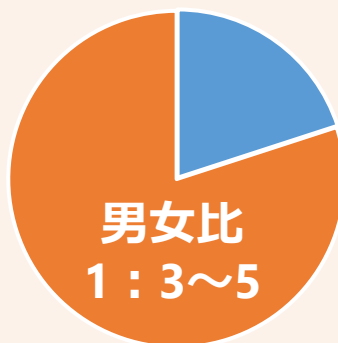
橋本病（慢性甲状腺炎）

甲状腺ホルモンが少なくなる病気



バセドウ病

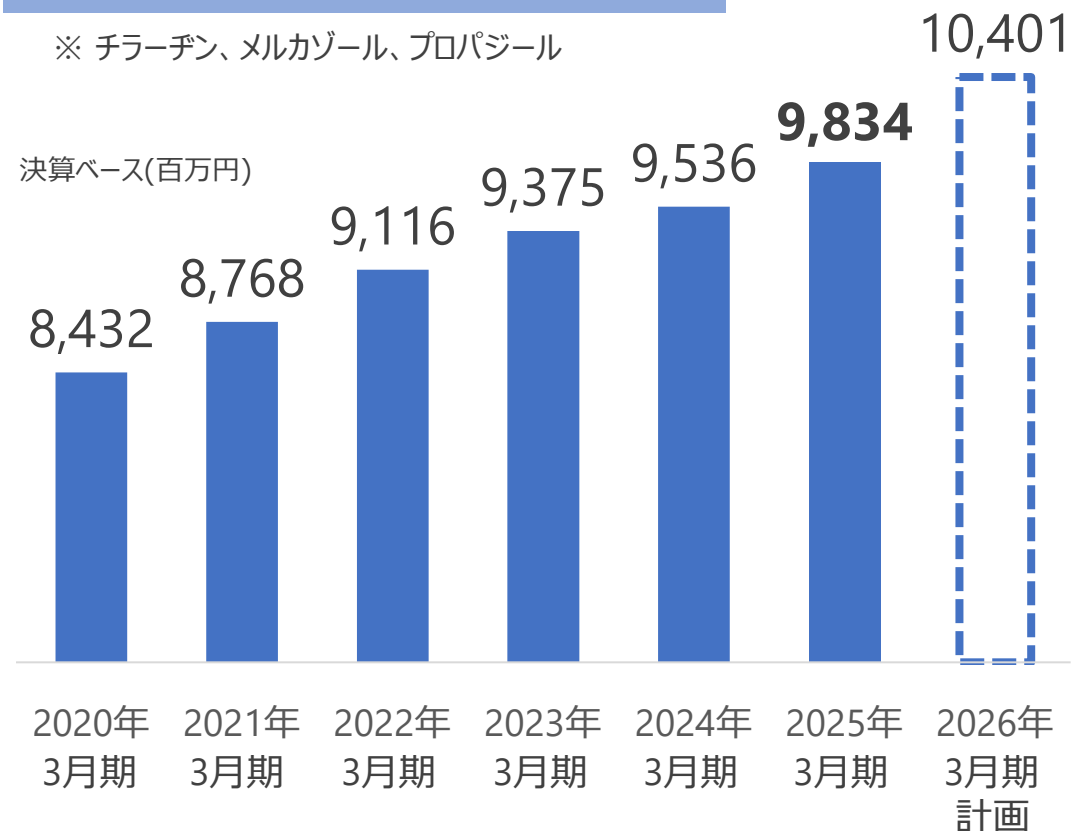
甲状腺ホルモンを過剰に産生する病気



日本内分泌学会ホームページより当社作図

甲状腺疾患治療剤※の売上推移

※ チラーヂン、メルカゾール、プロパジール



疾患啓発の推進と安定供給の確保

緊急避妊薬「ノルレボ」スイッチOTCについて



2025年5月15日

各 位

会 社 名 あすか製薬ホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 山口 隆
(コード番号 4886 東証プライム)
問い合わせ先 グループ経営企画部長 市川 学
(TEL. 03-5484-8366)

緊急避妊薬「ノルレボ®」スイッチ OTC 医薬品として製造販売承認申請のお知らせ

当社の子会社であるあすか製薬株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:山口惣大)は 緊急避妊薬「ノルレボ®」スイッチ OTC について、製造販売承認申請を行いましたことを報告いたします。

緊急避妊薬のスイッチOTC化については、2021年に評価検討会議において緊急避妊薬のスイッチOTC化の検討が開始され、緊急避妊薬の適正販売に係る環境整備のための調査事業(緊急避妊薬の試験販売)が実施されています。

このような状況下において様々な要望に対応できる体制を整えるため、2024年6月に製造販売申請を行いました。

具体的な承認時期などは現時点で未定ですが今後の動向を注視しつつ、お知らせすべき事項が生じた場合には適時適切に開示してまいります。

以上

緊急避妊薬に関する厚生労働省の動向

【2021年】

評価検討会議において緊急避妊薬の
スイッチOTC化の検討開始

【2023年～】

適正販売に係る環境整備のための調査事業
(緊急避妊薬の試験販売) を実施



様々な要望に対応できる体制を整えるため
2024年6月に製造販売承認申請

女性の健康への貢献活動

創立100周年を機に2020年より運営開始



知ることは、自分を守ること。

*ell*_{int}⁺ 女性のための健康ラボ *Mint*⁺



キーメッセージ

知ることは、自分を守ること。

医師監修のもと、正確な情報を発信し
女性に関するヘルスリテラシー向上に貢献

Mint⁺ Hug 子育てをしている方々向けウェブサイト



妊娠・出産・乳幼児の
健康にフォーカス

- ママのためのコラム
 - 新生児・乳幼児のためのコラム
 - 子育てお助け情報
- ※随時更新中

Mint⁺ teens

ティーンズ世代向けウェブサイト



フェムナレッジ

企業向け動画研修サービス



7つの戦略 ②先端創薬による新薬の継続的創出

2020年4月に川崎研究所を閉鎖し湘南ヘルスイノベーションパーク※へ移転 オープンイノベーションを加速し創薬研究を強化

※製薬企業のみならず、次世代医療、AI、ベンチャーキャピタル、行政など、幅広い業種や規模の産官学が結集している施設。他社、他業種との協業を進めることで先端創薬による新薬の創出を目指す。

2021年4月にロンドンオフィスを設立し既存パートナーとの提携を強化 海外製薬企業・バイオテック・学術機関との新規提携をさらに加速

開発パイプライン

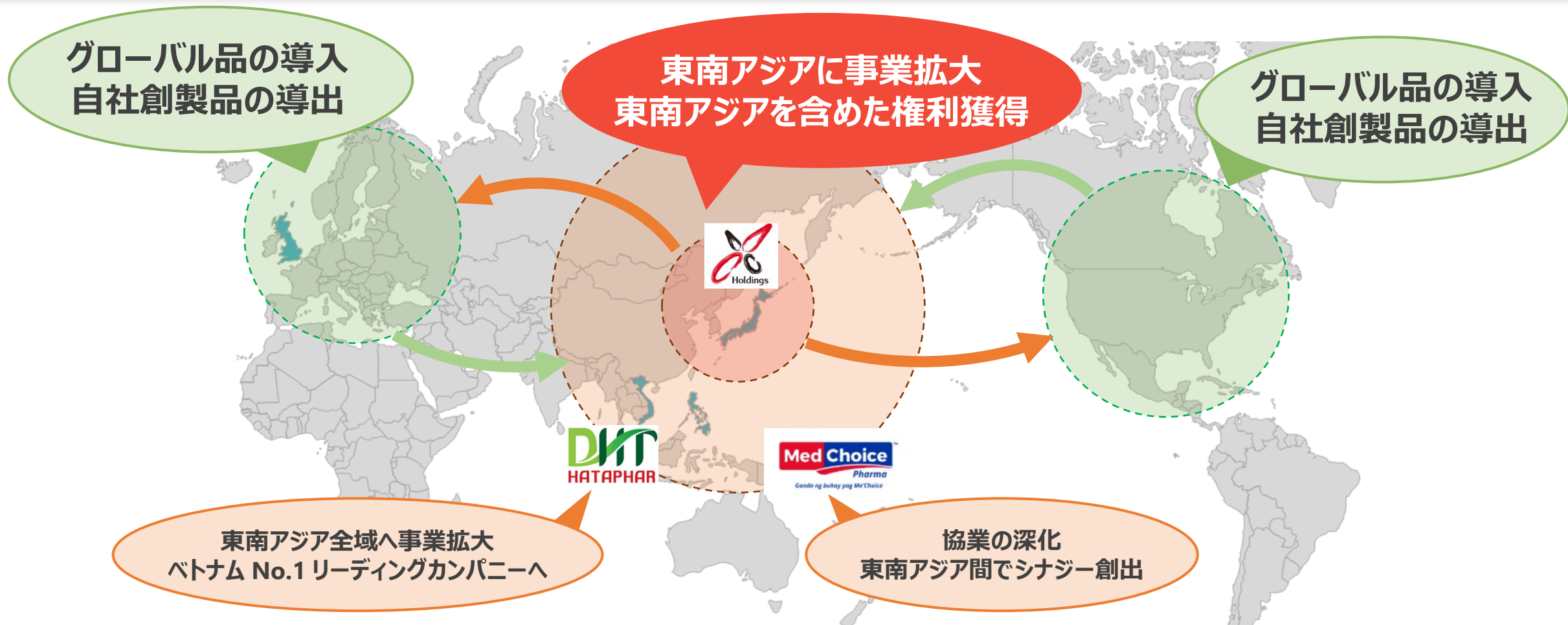
研究開発の状況（2025年7月時点）

開発番号(一般名)/領域・効能	研究※1	非臨床※1	Ph I	Ph II	Ph III	申請	承認
● 産婦人科領域							
LF111 (ドロスピレノン) 避妊							承認済
AKP-022 (レルゴリクス配合剤) 子宮筋腫					PhIII 実施中		
AKP-022 (レルゴリクス配合剤) 子宮内膜症					PhIII 実施中		
LPRI-CF113 (ドロスピレノン) 月経困難症				PhI/II 実施中			
AKP-SMD106 (治療用アプリ) 月経前症候群・月経前不快気分障害 (PMS・PMDD)				特定臨床研究実施中			
AKP-009※2 (ルダテロン酢酸エステル) 多嚢胞性卵巣症候群				開発準備中			
テーマB / 産婦人科領域							
● 内科領域							
TRM-270 (癒着防止材) 消化器領域・産婦人科領域						PhIII 終了	
テーマC / 内科領域							
● 泌尿器科領域							
AKP-009※3 (ルダテロン酢酸エステル) 前立腺肥大症				PhII 実施中			
AKP-021 (mPGES-1阻害剤)			PhI 実施中				
AKP-017 (テストステロン経鼻剤)			開発準備中				

※1 研究、非臨床のため詳細は非開示 ※2 AKP-009 多嚢胞性卵巣症候群はテーマAです

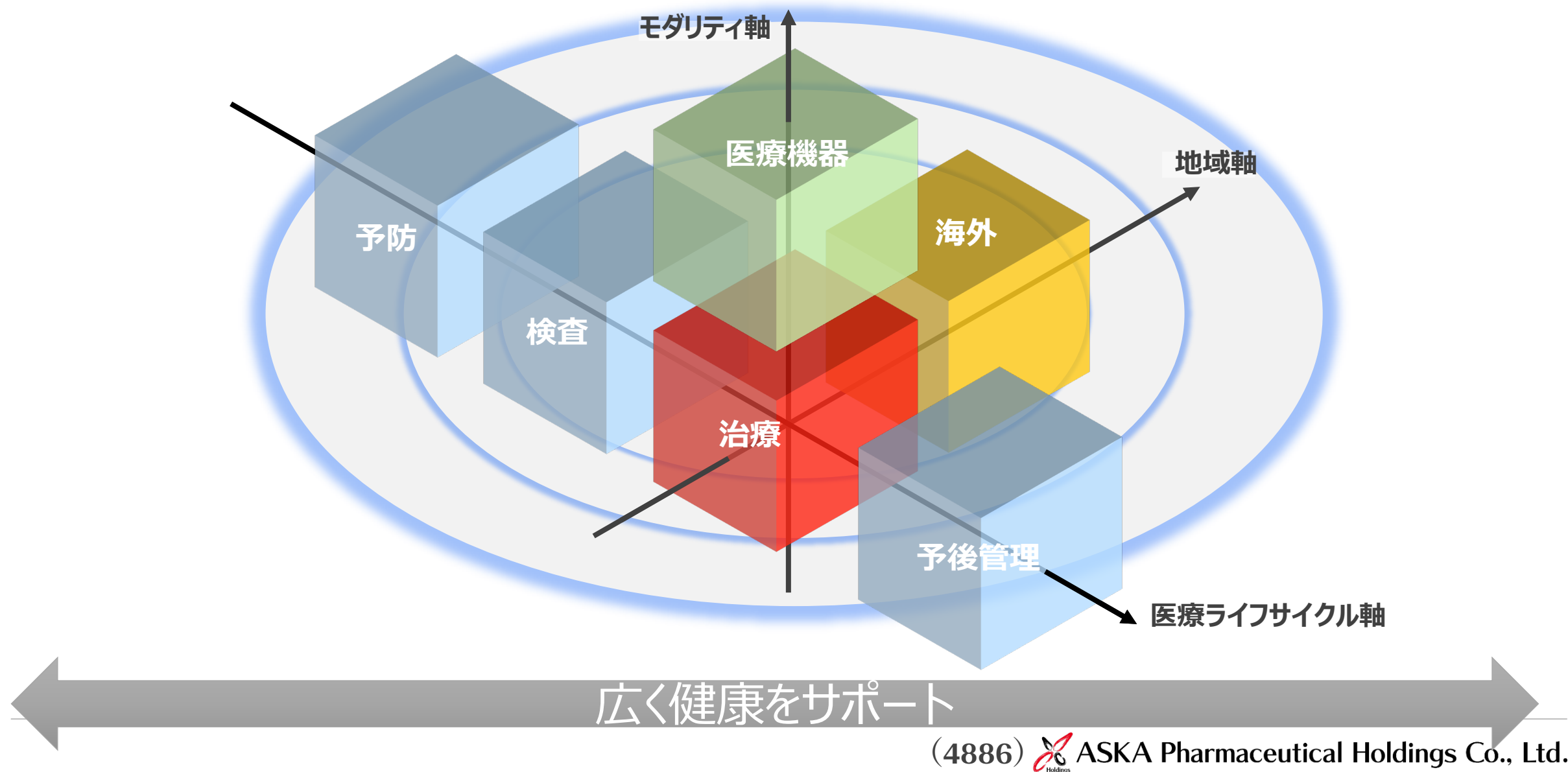
※3 AKP-009前立腺肥大症は杏林製薬（株）との共同開発及び販売等に関する契約を解消しました

海外事業のビジョン



海外事業を拡大し、さらなる成長を目指す

スペシャリティファーマを基盤とするトータルヘルスケアカンパニーを目指す



サステナビリティへの取り組み

あすか製薬ホールディングスのマテリアリティ

経営理念：先端の創薬を通じて人々の健康と明日の社会に貢献する

環境

環境経営の推進

ガバナンス

ガバナンス強化

スペシャリティファーマを基盤とする
トータルヘルスケアカンパニーを目指す



当社が貢献していくSDGs

6項目のマテリアリティを特定

社会

企業価値向上のための
多様な人材の育成

女性の健康とアニマル
ヘルスに貢献する

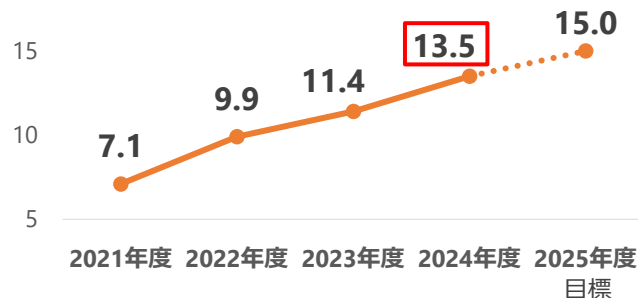
高品質な製品の安定
供給と適正情報提供

人権の尊重

人的資本の取り組み

女性活躍

正規従業員における女性管理職比率



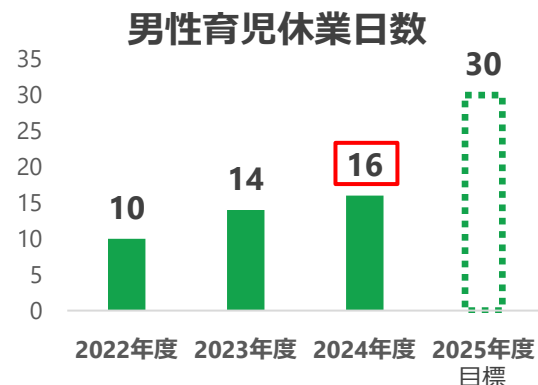
「東京都女性活躍大賞」初受賞

東京で輝く、
自分らしく。



次世代育成

男性育児休業取得率は100%を達成



「Nextなでしこ 共働き・共育て支援企業」
初選定



健康経営

社内制度

ワークサポート応援金

ライフイベントにより一時的に職場を
離れる者の業務をサポートした
従業員に対し半年ごとに支給

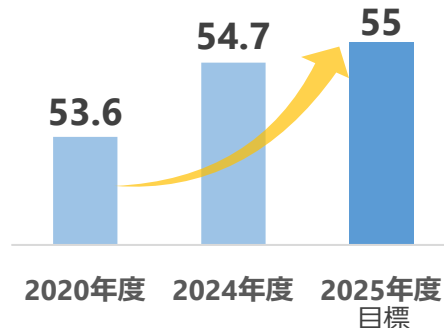


7年連続
達成

経営陣との対話の 機会創出

回数：62回
時間：113時間
(2024年度実績)

従業員エンゲージメント



経営陣との対話によりワークエンゲージメント向上につながる

イニシアティブ・社外評価

イニシアティブ



ESG外部評価



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index



FTSE Blossom
Japan Index



外部評価



經營成績・株主還元方針

2024年度 損益計算書（連結）

単位：百万円

	2024年3月期	2025年3月期	増減額	増減率
売上高	62,843	64,139	1,296	2.1%
売上原価	32,178	32,803	625	2.0%
売上総利益	30,664	31,335	670	2.2%
販売費及び一般管理費	24,164	26,003	1,839	7.6%
営業利益	6,500	5,331	△ 1,168	△ 18.0%
経常利益	6,522	5,107	△ 1,414	△ 21.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,545	5,101	△ 2,444	△ 32.4%

2025年度 業績予想（連結）

単位：百万円

	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	対前年 増減額	対前年 増減率
売上高	64,139	75,000	10,860	16.9%
営業利益	5,331	6,800	1,468	27.5%
経常利益	5,107	6,800	1,692	33.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,101	5,200	98	1.9%

主な要因

- ❑ 売上高は、医療用医薬品事業における主力製品であるリフキシマ、チラーヂン、レルミナ等の伸長に加えて、Hataphar社の連結子会社化により増収を予想
- ❑ 利益面は、売上総利益の増加、研究開発費の減少等により、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益、いずれも増益となる見込み

2025年度 第1四半期 損益計算書（連結）

単位：百万円

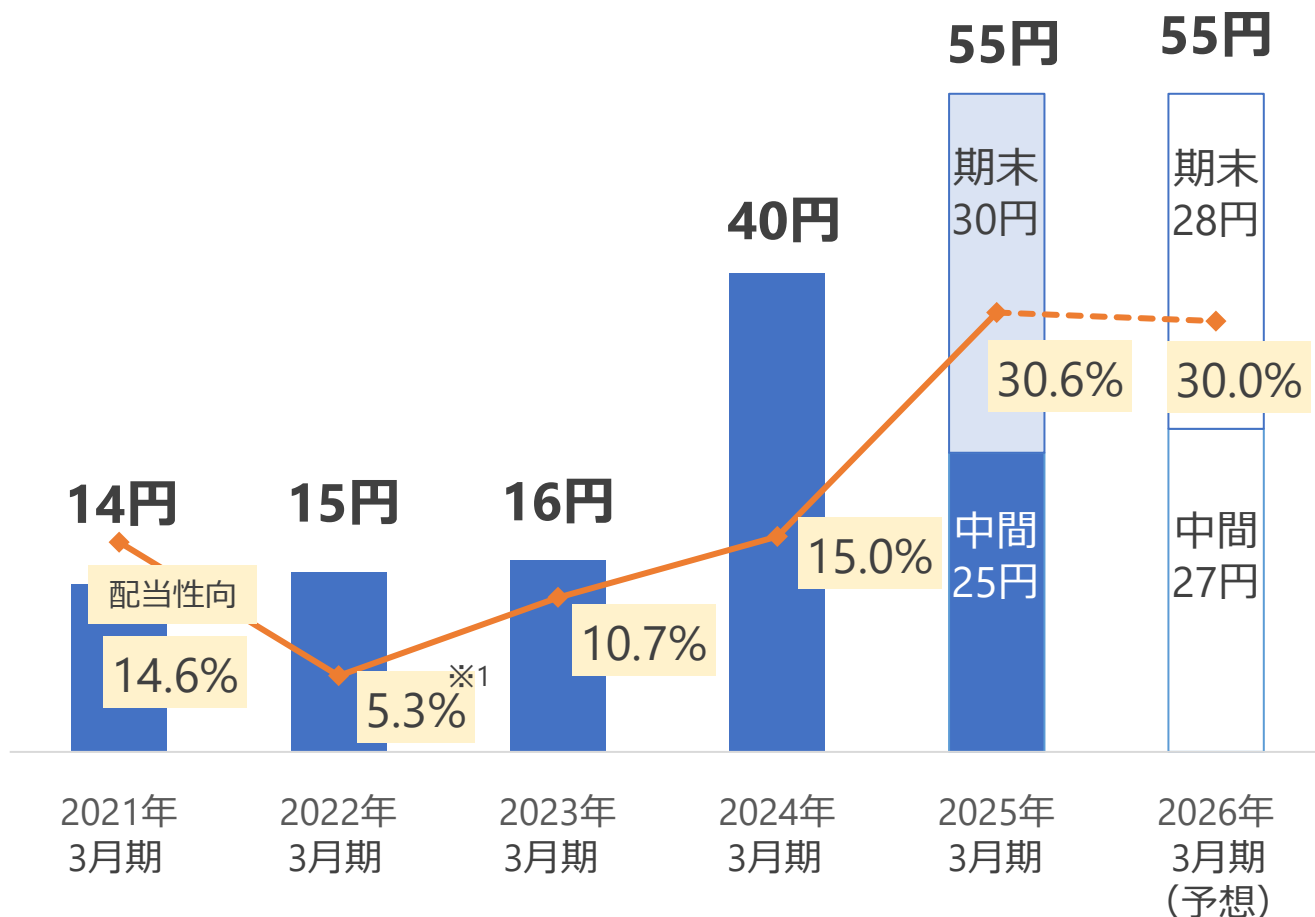
	2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	16,352	19,321	2,969	18.2%
営業利益	1,758	1,479	△278	△15.9%
経常利益	1,813	1,620	△192	△10.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,273	1,244	△28	△2.3%

主な要因

- 米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクや原材料・資源価格の上昇など、先行き不透明な状況が続く中で、当社グループでは医療用医薬品事業、動物用医薬品事業の伸長に加え、持分法適用会社であるベトナムHataphar社を連結子会社化したことにより、増収となりました。
- 利益面においては、研究開発費等の費用の増加が影響し、営業利益は前同比15.9%減、経常利益は前同比10.6%減、親会社株主に帰属する四半期期純利益は前同比2.3%減となりました。

株主還元強化

1株当たり配当額推移



※1 2022年3月期の中間配当7円は、その他資本剰余金からの配当であり、配当性向から除外して算出しております

株主還元方針

2025年3月期以降は業績連動利益配分として、

- ・連結配当性向30%を目安
- ・一株当たり配当金の下限は年間30円

を設定し、業績に連動した利益還元を行いつつ安定的な配当を維持する方針

【2025年3月期予定】

2024年3月期より15円増配の年間55円

【2026年3月期予想】

年間55円

上記還元方針を着実に遂行

株主・投資家様向け情報のご案内

当社ホームページおよび各種SNSにて情報発信しておりますので是非ご覧ください



<https://www.aska-pharma-hd.co.jp/invest/>



IRメール配信サービス

当社のIRに関する最新情報をメールでお届けします。

📧 IRメール配信サービス登録



<https://www.aska-pharma-hd.co.jp/invest/mail.html>



YouTube

@ASKA_Pharmaceutical



<https://www.youtube.com/channel/UCrQHYk0JSKuE25fAzdfQ43g>



X

@aska_pharma_hd



https://twitter.com/aska_pharma_hd



女性のための健康ラボ Mint+

<https://www.aska-pharma.co.jp/mint/>



Instagram

@aska_pharma2005



https://www.instagram.com/aska_pharma2005/

コーポレートメッセージ

あすも、みらいも、すこやかに



あすか製薬ホールディングス株式会社

重要な注意

- この資料に含まれる将来の予測に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております。
- したがって、実際の業績、開発見通し等は今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき願います。
- 医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。



証券コード：4886
あすか製薬ホールディングス株式会社

お問い合わせ先

グループ経営企画部

e-mail : kouhou@aska-pharma.co.jp